2024年度業務実績報告書

提出日　2025年1月13日

1．職名・氏名　教授　吉弘　淳一

2．学位　学位　教育学修士　専門分野　特別支援教育　授与機関　三重大学　授与年 1992
　　学位　社会福祉学修士　専門分野　児童福祉　授与機関　龍谷大学　授与年 1997

3．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 児童家庭福祉論（2単位　毎年開講）　2年生　（2024年度）開講
②　内容・ねらい 児童が置かれている環境、社会的な状況を把握することによって、将来児童にかかわる専門分野への関心を高める。また、特に児童ソーシャルワークへの導入を考えた授業内容を展開する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 現在、児童福祉に関わるめまぐるしい法律改正のポイントを段階を追ってまとめ、それぞれの特徴をプリントにして学生に示す。また児童にかかわる現状について、新聞等での解説を含め情報と興味を高める工夫をしている。それをもとに、小テストを実施しながらスモールステップで理解度を高めていく。
視覚教材を取り入れながら現状と教科書との温度差を感じてもらい、理論と実践が組み合わされるような工夫を行っている。
答えは一つだけではなく視点を変えて様々な考え方を取り入れ、引き出せるようにグループ発表、レポートの提出を積極的に行っている。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 家族ソーシャルワーク論（2単位　毎年開講）　2年生　（2024年度）不開講
②　内容・ねらい 現代における「家族」の定義、家族のあり方を学生の視点で理解を深められるようにする。家族の成員、一人ひとりの役割を明確化し、お互いが何らかの形で関係しあっていることを考え、家族システム理論の理解を目指す。またマッピング技法の習得も目指す。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 家族療法の面接技術の習得に関して、視覚教材を通して立体的に理解を深める。また、ロールプレイをすることによって、自分自身のスキル向上に効果を促す。
社会人の方が授業に参加しておられることが多いので、その方に現状の施設における家族面接の実際を担当教員とのロールプレイを通して受容を進めている。
答えは一つだけではなく視点を変えて様々な考え方を取り入れられるようにグループ発表、レポートの提出をしている。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 社会福祉演習（2単位　毎年開講）　3年生　（2024年度）
②　内容・ねらい 4年次の卒論作成に向けて、それぞれが興味のある話題を深め、プレゼンテーションの基本を身につけることも目標の一つである。子どもを取り巻く環境からどのような問題や課題が考えられるのかをゼミ生による発表と意見交換を通じてお互いに学び合う。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 お互いが理解を深め、個を認め合うことを目指す。その上で個人が問題提起を行えるような工夫をする。特に、実際に保育園、幼稚園、子ども園、児童館、福井少年鑑別所等に見学に行き、子どもとの現状を学生が感じ取れ考えられるように実践を取り入れている。
「Working with Involuntary Clients」をサブテキストとして輪読を行い、それぞれ発表して意見を交換する。
実習との兼ね合いを考え、10月以降はクライエントへの対応を主に事例研究を行う

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ソーシャルワーク論Ⅳ（２単位　毎年開講）　２年生　（2024 年度）
② 内容・ねらい 社会福祉施設、機関の現状を理解し、実習現場においてどのようなスーパービジョンを受けてきたのかをロールプレイを含め理解する。また、一つひとつの言葉の意味とその背景について理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材を取り入れながら授業を進めている。また、感想や疑問点についてレポート提出を行っている。
(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 社会福祉実習および実習指導（６単位　毎年開講）　3 年生　（2024 年度）
② 内容・ねらい 社会福祉士として必要な知識・技術・価値、および関連知識への理解を深め、社会福祉サービスの利用者と社会福祉士の援助の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を高める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材、実際に現場の職員に講義を受講することで実践と理論の両輪を学ぶ工夫を行っている。
④ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材を取り入れながら授業を進めている。また、感想や疑問点についてレポート提出を行っている。
(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 スクールソーシャルワーク論（2 単位　毎年開講）　2 年生　（2024 年度）
②内容・ねらい 学校教育の現状を理解する中で、社会福祉士（スクールソーシャルワーカー）としての役割を理解する。スクールソーシャルワーカーとしての必要な知識・技術・価値、および関連知識への理解を深め、学校の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を高める。また、スクールカウンセラーとの協働についても考察を行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学校現場の現状について視覚教材、実際に現場の教員に講義を受講することで実践と理論の両輪を学ぶ工夫を行っている。

４．研究業績

(1)研究業績の公表（2024 年 1 月～12 月）
①　著書 ・福祉臨床シリーズ編集委員会編「新・社会福祉士シリーズ「ソーシャルワーク演習（共通）」p50~66　2024 年 1 月 30 日 ・福祉臨床シリーズ編集委員会編新・社会福祉士シリーズ「ソーシャルワーク演習（社福専門）p12~19　2024 年 2 月 28 日
②学術論文（査読あり）「２本」 ・「『子ども家庭支援論』の授業テキストにおいて保育者を目指す者の学びに必要なこと」（共著）「日本福祉図書文献研究 NO.21 日本図書文献学会」2024 年 11 月 ・「学校不適応の現状と課題についての一考察―予防的方策アプローチについて―」（単著）「人間学研究紀要　創刊号」関西人間学会　2024 年 11 月
③学術論文（査読なし）「0 本」
④学会発表等「3 件」 ○関西人間学会「　　」2024 年 3 月 ○日本福祉図書文献学会　　2023 年 11 月
⑤その他の公表実績
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
（4）学会活動等
○学会での役職など 日本福祉図書文献学会　理事　2015 年 11 月～現在に至る 日本学習支援学会　副会長　2015 年 10 月～現在に至る 関西人間学会　副会長　2010 年 11 月～現在に至る 関西人間学会学会誌『研究紀要』査読委員 2014 年度～
○学会・分科会の開催運営

５．地域・社会貢献活動

(1)学外団体
①　国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井県要保護児童地域対策連絡協議会　委員長　2015 年～現在に至る 第 5 次福井県ひとり親家庭自立支援計画委員会　委員長　2017 年 4 月～現在に至る 福井県敦賀市小学生自死第 3 者委員会　委員長　2020 年 5 月～現在に至る 福井県教育委員会委託中学校・小学校スクールカウンセラー2010 年 4 月～現在に至る
②　国・地方公共団体等の調査受託等 福井県敦賀市小学生自死調査委員会　委員長
③　（公益性の強い）NPO･NGO 法人への参加 NPO 法人「あったかコミュ R みえ・あそび箱 AM」　副代表 2014 年 4 月～現在に至る
④　（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤　大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥　その他 ○FBC「ぶらり子育てしゃべり隊プラス」企画監修担当委員
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①　公開講座・オープンカレッジの開講
②　社会人・高校生向けの講座 ○福井県教育庁義務教育課　家庭教育支援「親の学び合いプログラム集」作成　委員 ○福井県鯖江高等学校「開放講義」講座
③　その他
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
○1 月 ○2 月 ①第 4 回　初任者研修　東近江市教育委員会研修　「子どもの理解と発達に応じたコミュニケーション」８日 ②福井県坂井市健康センター「子どもの発達段階とかかわり方について」29 日 ③滋賀県野洲市　ゆいの里居宅介護事業所研修会「スーパービジョン研修①」８日 ④滋賀県守山市　福祉保健センター　第 2 回お話し相手ボランティア「安らぎ」「対人援助の基本・自己の理解」26 日 ○3 月 ①福井県あわら市保育部会講演会敬愛子ども園「子どもの発達理解と自己理解について」23 日 ○4 月 ○5 月 ①福井県青少年育成福井市民会議社西支部研修会「自己理解を通した子どもたちへのより良い関わり（自己肯定感の拡がりへのサポートについて)」25 日 ○６月 ①滋賀県東近江市こども未来部　五箇荘コミュニティセンター　幼児教育センター子育て支援員育成研修連続講座①「自己理解とストレスマネージメントについて」6 日 ○7 月 ①福井市中央公民館家庭教育事業「子育てラボ」第 3 回「子どもの健やかな成長を促すより良い関わりについて」３日 ②福井県幼・小・中ＰＴＡ活動地区別研修会　大野市結とぴあ「自己理解を通してより良い子育てを考える」6 日

③ 滋賀県東近江市こども未来部　ひばり公園みすまの館　幼児教育センター子育て支援員育成研修連続講座②「様々なケースにおける保護者対応について」11 日
④ 福井県美浜町令和 5 年度 PTA 講演会「子どもの自己肯定感を育てる親の関わり」14 日
⑤ 滋賀県東近江市教育研究所　夏期研修講座（生徒指導・教育相談講座）「子供の理解とコミュニケーションの取り方」24 日

○8 月
①福井県勝山市青少年健全育成推進大会　「ポジティブシンキングからの子育てについて」21 日

○9 月
① 令和 6 年度福井県児童館連絡協議会第 3 回児童厚生 2 級指導員研修会「配慮を要する児童の対応」10 日
② 放課後児童クラブ資質向上研修会　福井市地域交流センター「気がかりな子どもへのかかわり方について」18 日
③ 放課後児童クラブ資質向上研修会　美浜町はとぴあ「気がかりな子どもへのかかわり方について」26 日
④ 滋賀県東近江市滋賀学園高等学校教員研修会「いじめの現状と課題・予防について」18 日
⑤ 福井市社会福祉協議会令和 6 年度児童館職員研修　「保護者とのより良い関係性の構築について」24 日
⑥ 坂井市教育委員会　坂井市家庭教育支援チーム員研修「親はぴトークをいかせる取り組みについて」30 日

○10 月
① 福井市社会福祉協議会　福祉委員スキルアップ研修会「楽しみながらかかわる支援のあり方」10 日
② 福井県鯖江高等学校「開放講義」講座　18 日
③ 福井県坂井市立大関小学校　就学時健康診断　子育て講演会「子どもとの上手な関わり方」26 日

○11 月
① 令和 6 年度　大野市教育委員会　児童センター職員研修会「気がかりな子どもとのより良いコミュニケーションの取り方について」 1 日
② 福井市啓蒙小学校「親子のより良い関係について」7 日
② 福井県坂井市立高椋小学校子育て後援会「親子のより良い楽しい子育てについて」12 日
③ 令和 6 年度福井県児童館連絡協議会　「気がかりな子どもに関する事例研究会」13 日
④ 滋賀県米原市社会福祉協議会「傾聴ボランティア養成講座 1 」15 日
⑤ 福井県大野市陽明中学校 PTA 文化子育て講演会「より良い親子のかかわりについて」17 日
⑥ 滋賀県米原市社会福祉協議会「傾聴ボランティア養成講座 2 」29 日

○12 月
① 滋賀県米原市社会福祉協議会「傾聴ボランティア養成講座 3 」20 日
② 福井県勝山市北郷小学校子育て講演会「子どもの理解とより良い親子関係」19 日

6．大学運営への参画

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
看護福祉学部教育研究委員会　社会福祉学科教務委員
(3)学内行事への参加
BBS サークル顧問
(4)その他、自発的活動など